

# もしも！

## のときのマニュアル

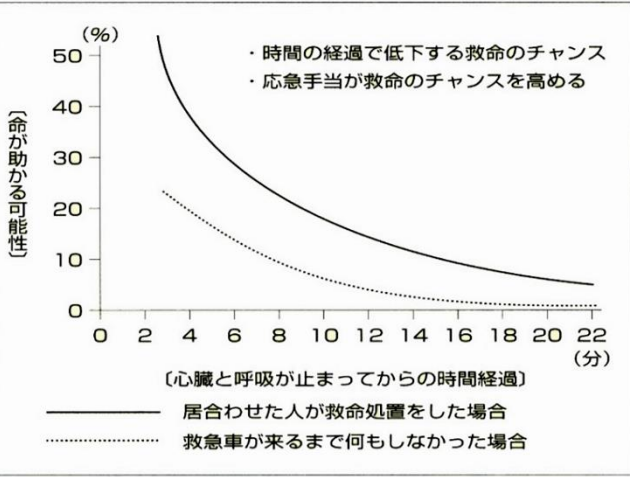
乳児編

Ver.2020



# 救命処置の基礎知識

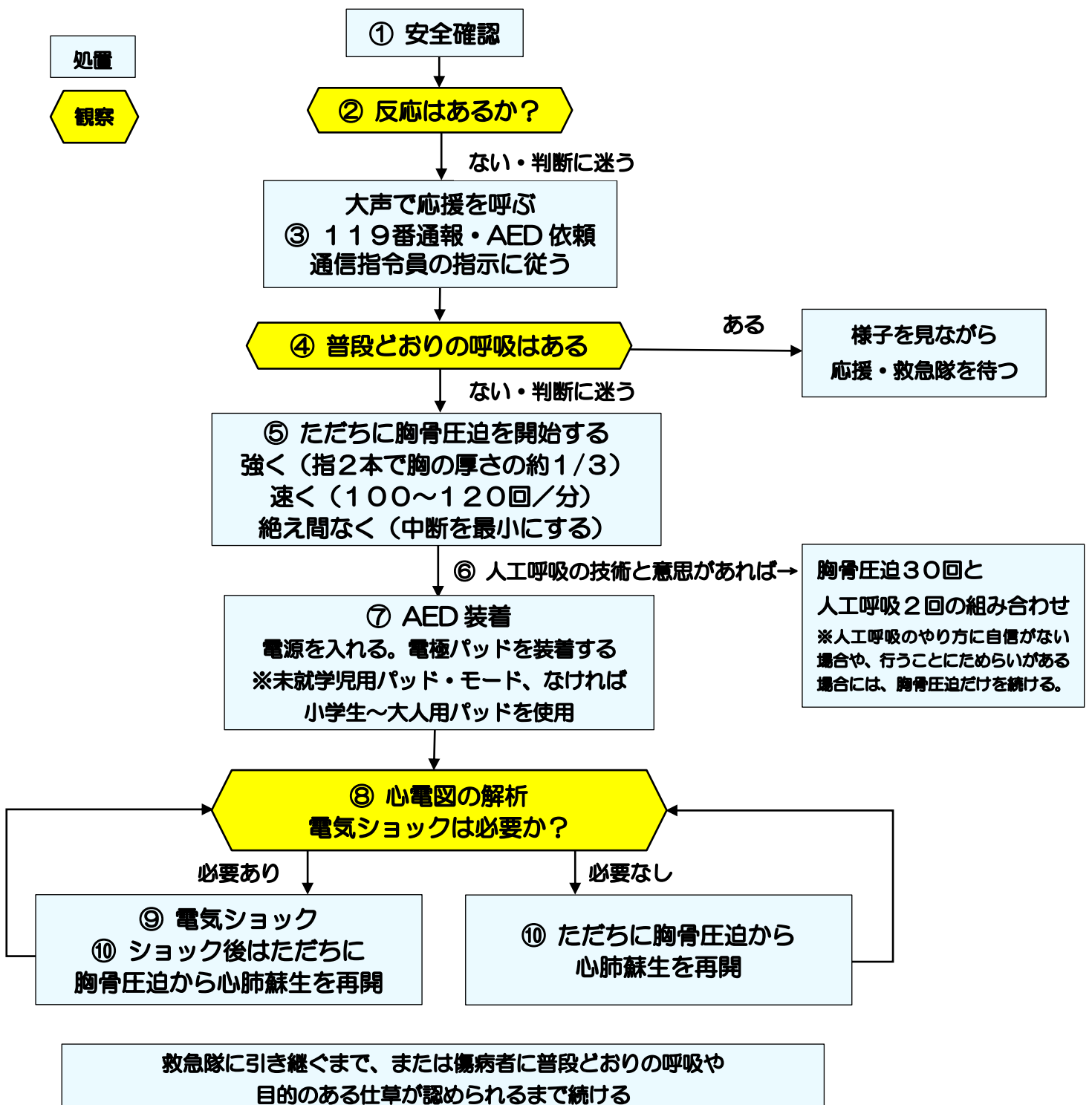
②



脳は、心臓が止まると15秒以内に意識がなくなり、3~4分以上そのままの状態が続くと回復することが困難となります。命が助かる可能性は時間とともに減っていきませんが、そばに居合わせた人が心肺蘇生を行った場合には、その減り方がずいぶんゆるやかになります。傷病者の命を救うためには、その場に居合わせた「あなた」が心肺蘇生を行う事が最も大切なのです。

尊い命を救うのは「**あなた**」です！！

## 乳児の救命処置の流れ(心肺蘇生とAEDの使用)



# 乳児に対する救命処置の手順

③

## ①安全確認 ②反応の確認

- 周囲の安全を確認します。
- 声をかけながら反応があるかないかを確認めます。このとき、足の裏を刺激することも有効です。
- 反応がなければ、大きな声で助けを求めます。

## ③119番通報・AED 依頼

- 協力者が来たら、「あなたは119番通報してください」「あなたはAEDを持ってきてください」と具体的に依頼します。

### ポイント

☆救助者が一人の場合や、協力者がいない場合には、まず自分で119番通報を行い、すぐ近くにAEDがあれば取りに行きます。

☆119番通報すると、通信指令員から行うべきことの指導を受けることもできます。

(この際、電話のスピーカー機能などを活用すれば、通信指令員の口頭指導を受けながら胸骨圧迫を行うことができます。)

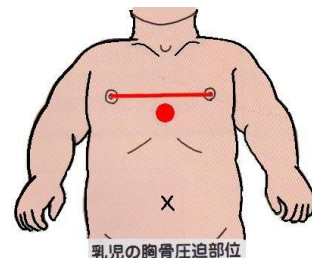
## ④呼吸の確認

- 呼吸は胸と腹部の動きをみて「普段どおりの呼吸か」を10秒以内で確認します。
- 呼吸がないか、普段どおりでない(死戦期呼吸:しゃくりあげるような途切れ途切れの呼吸)場合は、心停止と判断します。また、「普段どおりの呼吸か」どうか判断に迷う場合、またはわからない場合も、胸骨圧迫を開始します。

## ⑤胸骨圧迫

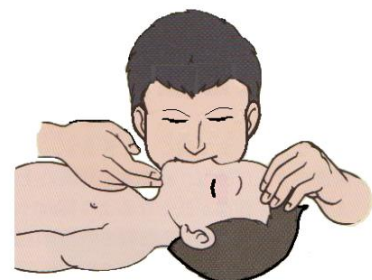
- 圧迫の位置は、両乳頭を結ぶ線の少し足側を目安とした胸の真ん中です。
- 胸骨圧迫は指2本で行います。
- 圧迫の深さは、胸の厚さの約1/3までしっかり圧迫します。
- 1分間に100~120回のテンポで、30回連続して絶え間なく圧迫します。

※乳児だからといって、こわごわと弱く圧迫しては効果が得られません。



## ⑥人工呼吸

- 救助者が人工呼吸の訓練を受けており、それを行う技術と意思がある場合に行います。
- 胸骨圧迫を30回行ったら、人工呼吸を開始します。  
気道確保を実施して人工呼吸を2回行います。吹き込みは約1秒かけて行い、胸の上りを確認できる程度としますが、わからなくても吹き込みは2回まで行います。
- 乳児の大きさでは、口対口人工呼吸を実施することが難しい場合があります。この場合は、傷病者の口と鼻を同時に自分の口で覆う「口対口鼻人工呼吸」を行います。



### ポイント

☆手元に感染防護具があれば使用してください。

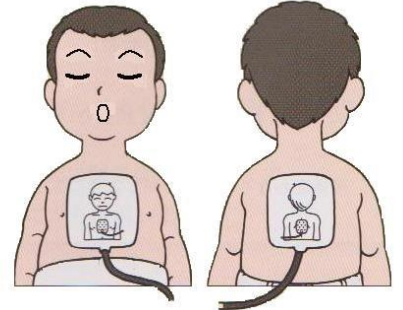
☆人工呼吸のやり方に自信がない場合や、ためらいがある場合には、胸骨圧迫だけを続けます。

## 心肺蘇生法（胸骨圧迫と人工呼吸）を継続

- 胸骨圧迫30回の連続して行った後に、人工呼吸を2回行う組み合わせを絶え間なく続けます。

## AEDの使用

- 乳児にも、AEDを使用します。
- AEDに未就学児用パッドや未就学児用モードが備わっている場合は、それを使用します。未就学児用パッドや未就学児用モードがなければ、入っているパッドを使用してください。
- パッドを貼る位置は、パッドや袋に表示されている図の様に貼り付けます。
- 電気ショック後は、ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開します。



未就学児用パッドを貼り付ける位置

## 乳児に対する気道異物除去の方法

- 気道異物による窒息と判断した場合は、ただちに119番通報を誰かに依頼した後に、頭部を下げて、背部叩打法や胸部突き上げ法を実施します。
- 異物が取れるか反応がなくなるまで、2つの方法を数度ずつ繰り返して続けます。



乳児への背部叩打法



乳児への胸部突き上げ法

- 背部叩打法は、まず救助者の片腕の上に乳児をうつぶせに乗せ、手のひらで乳児の顔を支えながら、頭部が低くなるような姿勢にします。もう一方の手の付け根で、背中の中を力強く数回連続してたたきます。
- 胸部突き上げ法は、救助者の片腕の上に乳児の背中を乗せ、手のひらで乳児の後頭部をしっかり支えながら、頭部が低くなるよう仰向けにし、もう一方の手の指2本で、胸の中を力強く数回連続して圧迫します（心肺蘇生の胸骨圧迫と同じ要領です）。

### ポイント

- ☆乳児には、腹部突き上げ法を行ってはいけません。
- ☆反応がなくなった場合は、乳児の心肺蘇生の手順を開始します。救助者が一人の場合は、まず自分で119番通報し、すぐ近くにAEDがあれば取りに行き、通常のコルパルネーションを行ってください。

# オートショック AED について

参考

電気ショックが必要な場合に、ショックボタンを押さなくても自動的に電気が流れる機種（オートショック AED）が2021年7月に認可されました。傷病者から離れるように音声メッセージが流れ、カウントダウン（例：スリー、ツー、ワン）またはブザーの後に自動的に電気ショックが行われます。この時、安全のため音声メッセージなどに従って傷病者から離れる必要があります。救助者等が電気ショックの際に傷病者から離れることが遅れた場合、放電エネルギーにより感電する恐れがあります。

## オートショック AED ロゴマーク



※オートショック AED には「オートショック AED」を示すロゴマークシールが貼付けされています。

※音声メッセージなどに従って行動する点は従来の AED と変わりありません。

## 未就学児用モードについて



オートショック AED の他にも未就学児モードが搭載された AED がある。未就学児に対して「未就学児モード」がある機種は、キーを差し込んだりレバーを操作するなどして未就学児モードに切り替えて使用してください。

# これを見て少し不安解消！

目の前で人が倒れている状況を想像してみてください。

「うまく応急手当ができるだろうか？」と不安を抱く方がほとんどだと思います。

今から記載することを覚えておくだけで、少しはあなたの不安を取り除くことができます。

- 119番通報により心停止の判断や胸骨圧迫についての指導が受けられること。
- 反応や呼吸の判断に自信がなくても、胸骨圧迫を開始してもよいこと。
- 心肺蘇生法によって傷病者を傷つけることを心配する必要はないこと。
- 傷病者が小児でも成人と同様の心肺蘇生法でよいこと。
- 人工呼吸ができない場合は胸骨圧迫だけでもよいこと。
- 心肺蘇生法は傷病者が服を着たままの状態でも開始できること。
- 電極パッドを貼り付ける部位の肌を露出させるのは、傷病者が女性の場合でも救命のために必要な行為であること。
- 心肺蘇生法を行ったさいに、その結果によって法的責任を負うことはないこと。

## 救命現場のストレスについて

一般市民にとって救命の現場に遭遇することは非日常体験となります。問題なくうまくいったとしても、多かれ少なかれ心的ストレスが生じて、不安を感じたり気分が落ち込んだりすることがあります。多くの場合、こうした症状は時間とともに軽減しますが、症状の程度が強かったり、長く続く場合は自分だけで思い悩まずに、身近な人や専門家に相談してください。お住いの消防署や各市町村の窓口（保健センターなど）または、保健所に相談することも一つの方法です。

### 消防署 担当連絡先

新城市消防署（本署救急担当） 平日 ☎ 0536-22-1119

新城市消防署（豊根出張所） 平日 ☎ 0536-85-1199

（※出動等により対応できない場合があります。）

### 相談先一覧

新城保健センター 平日 ☎ 0536-23-8551

したら保健福祉センター 平日 ☎ 0536-62-0901

つぐ保健福祉センター 平日 ☎ 0536-83-2665

東栄保健福祉センター 平日 ☎ 0536-76-1815

豊根村保健福祉センター 平日 ☎ 0536-85-5055

新城保健所 平日 ☎ 0536-22-2205